

## 練習試合の結果

23日(土) 対駿台学園高校  
第1試合 4対1 勝利  
第2試合 途中まで

24日(日) 対白岡高校  
第1試合 3対1 勝利  
第2試合 途中まで

通算結果 18勝 7敗 4分

## 感じる・考える

慶応高校・森林監督を取材された記事を読み、考えさせられました。そのまま抜き出しますので、市高部員も何かを感じて欲しいと思います。

- いま企業が求めている人材は「野球型」ではなく「サッカー型」や「ラグビー型」だそうです。野球界は指導者の言うことが絶対。1球ごとにサインを見て指示を仰ぎます。一方でサッカーやラグビーは試合が始まれば、選手が瞬時に判断しなければならない。主体性の育ち方が全然違います。
- 野球界にいると自分達は改革して変化しているんだと思う一方で、世の中はそれ以上のスピードで変わっている。
- 選手達には高校野球で「勝ち」よりも「価値」を求めて欲しい。
- 甲子園を頂点とするトーナメントは、負けたら終わりです。でも大学、プロはリーグ戦でやっている。負けても次への学びがある、うまくいかなかったら、じゃあ次はどうするか、というのが教育としてあるべき姿です。勝ちと負けの中で成長していくことは「スポーツ×教育」で大事なことです。

今号は5月25日号

第1272号です

発行者 鈴木 諭

## すべて(社会)勉強

公共交通機関を利用する遠征は、その行き来も練習の1つです。先日の白岡高校遠征、乗車する電車(路線)の間違いによる遅刻がありました。実はこれ、大宮駅あるあるネタなんです。ここを通る高崎線と宇都宮線の車両が同じなのです(確かホームも混ざっているんで、自分がどちらの路線に乗っているかしっかり確認しなければならない)。1回失敗すれば次は確認するでしょう(学んだはず)。むしろ大事なのはそうなってしまった時(失敗した時)どう対応・対処することかな。と。

過去に(指導者として)苦い経験をしています。

初任校の時です。夏の高校野球開会式の日、その代は選手がピッタリ9人でした。理解してただけか分かりませんが、テレビ中継される入場行進に選手がしっかり9人いて、単独校として出場していることをアピールしたかったのです。しかし、1人が地元駅の集合時間に遅刻、その集合時間は早めに設定されていたので、その電車に乗り遅れても入場行進開始には全然間に合います。でも・・・その選手は自宅に戻ってしまったのです(大宮公園球場への行き方が分からなかった)。次の日、そんな感じでした=結局8名で行進)。1人で行動できず、私への連絡もなく(行方不明状態になり、所在確認をしなければならなくなり、入場行進どころではない状態に・・・)大変な1日になってしまいました(野球だけしていたのではダメなのだと感じた日でした)。

野球でも私生活でも今後社会人になってもミスはあります。その時どのように対応・対処するか・・・野球部の活動を通じて学んで欲しいです。1つアドバイスするとすれば、そうなってしまったことの原因説明でウソをつくのはやめた方が良いでしょう(寝坊しました等、正直に言ってしまった方が良いでしょう)。

部の遠征で様々なことを学んで下さい。